

認知症施策推進協議会を開催しました

令和8年1月28日（水）、令和7年度認知症施策推進協議会を開催し、「山形県認知症施策推進計画」の各施策の進捗状況について報告を行い、各委員より御意見をいただきました。各施策で掲げている目標については、令和11年度末までに概ね順調に達成する見込みですが、通いの場への参加率などの一部目標についてはやや進捗が遅れている状況です。

協議会では委員より、近年、新たな治療薬である抗アミロイドβ抗体薬が保険収載されたことに伴い、認知症診断や治療薬による治療を希望する患者が増加し、高度な専門性を要する一部医療機関に負担が集中しているといった御意見がありました。高齢化が進む本県では、早期診断・早期治療に関する普及啓発を継続して行うとともに、認知症初期集中支援チームやチームオレンジの協力を得ながら、認知症の人やその家族等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、市町村や関係機関と連携し、地域における医療提供体制の構築に努めてまいります。また、市町村における認知症施策推進計画の策定状況や取組内容にも注視しながら、県では、今後も市町村と連携し、認知症施策を推進してまいりますので、より一層御協力賜りますようお願いいたします。

（山形県高齢者支援課）

山形県認知症施策推進計画

認知症の人が家族等とともに住み慣れた地域で希望をもって
自分らしく暮らし続けることができる共生社会の実現



県内にお住まいの若年性認知症の方が撮影された写真です。

令和7年3月

山形県



県ホームページ
令和7年度山形県認知症
施策推進協議会

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

若年性認知症の人と家族のつどい「なのはな」 ～手作りボッチャをご紹介します～

若年性認知症の人と家族のつどい「なのはな」では最近、とあるゲームが白熱しています。そのゲームというのは、床に敷いてある点数が書かれた的にボールを1人4球転がし、合計点数を競うゲームです。投げるだけなので、どんな方にも気軽にできるようになっています。これだけ聞くと簡単そうですが、4つのボールは大きさも重さも違い、中に石が入っているため、左右に曲がったり、転がりすぎたりと、思ったところにいかないようにしています。そのため、みんなで「このように投げたほうがいい」「このボールは転がるから弱く投げ方がいい」など攻略法を考え、教えながら行っており、思っていたよりも白熱して参加されています。

このゲームは、ボールを手に取り、重さを感じて、どのくらいの力で投げるか、左右に曲がったから次はどのように投げるかという、経験から次を考えていくこと、毎回転がり方が変わるので、その都度調整をしていくことは脳の活性化に繋がります。そして、家族対抗で行っていることや、自分の体験から攻略法を教えあいながら応援することも盛り上がる要素となっているのかと思っています。

ゲームを作った私自身も攻略法はまだつかめていません。これまで、主に体操を中心に行ってきましたが、以前からこのような皆さんと一緒に楽しめるレクリエーションをできたらと考えていました。今後もまた、新たにゲームを考えて考えながら楽しめていただければと思っています。（作業療法士 小川 真志）



認知症講演会を開催しました！

1月26日（月）、長井市のタスパークホテルにて「みんなが輝く地域づくり～認知症とともにいきいき生きる～」をテーマに認知症講演会を行いました。講師には吉川記念病院院長 御供正明先生をお迎えして、認知症の基礎知識と早期受診の大切さについてお話いただきました。

また、講師として認知症当事者相談窓口「おれんじドア」の代表で、映画「オレンジ・ランプ」のモデルとなった丹野智文さんにもお越しいただき、39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された丹野さんご自身が、どのように認知症と向き合い、受け入れてきたのか、当事者・家族・周囲で関わる方それぞれの立場からの経験談や、認知症当事者の想いを届けるため、「認知症になっても自分らしく生きる」ことについてお話いただきました。「認知症になったら何もできなくなる」のではなく、認知症でもそうでなくても一人一人ができること、やりたいことを自分で考え自分で選択し、様々な工夫をして、仲間と繋がりながら、自分らしく生き続けることが大切だと教えていただきました。

参加された方からは、「早期発見・早期治療の大切さ、その後の対応の大切さを学びました。」「前向きに生きよう自信をもって元気で楽しいことを考えて毎日過ごしたい。」「もっと当事者の声を聞き、もっとやれることをしてもらいたい、と思った。」などの感想をいただきました。

認知症はいつでも誰でもなり得るものです。認知症になっても自分らしく生きていくために、誰もが住みやすく安心して暮らせる地域づくりを続けていきましょう。

医療法人杏山会 吉川記念病院 認知症初期集中支援チーム（長井市、飯豊町、白鷹町） 青木真美



インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

令和7年度さくらんぼカフェ出張交流会ご報告



今年度さくらんぼカフェ出張交流会を実施した4ヶ所をご紹介します。

活動名	日にち／場所	内容
本人ミーティング	10月1日（水） さくらんぼカフェ	あきたオレンジ大使の神原繁行さんと、県内の認知症ご本人との座談会を実施しました。
臨床アート体験	11月5日（水） 九里学園高等学校	九里学園の生徒の方を対象に、臨床美術の講師による指導のもと石を使ったアート作品作りを実施しました。
にこにこ介護者ほっとカフェ	12月16日（火） 三川町社会福祉センター	「広げよう介護の輪を」のテーマのもと、介護者同士による情報交換や介護の悩みについて話し合われました。
クリスマス創作活動	12月24日（水） グランドホーム樫の木	認知症カフェ喫茶アモーレの参加者様と、脳トレ体操やクリスマスリース作りを実施しました。

令和8年度もさくらんぼカフェ出張交流会を実施予定です。どうぞお気軽にお声がけください。

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター（山形市 県小白川庁舎内）

電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼12時～午後4時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 E-mail kazokunokai@camel.plala.or.jp

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。